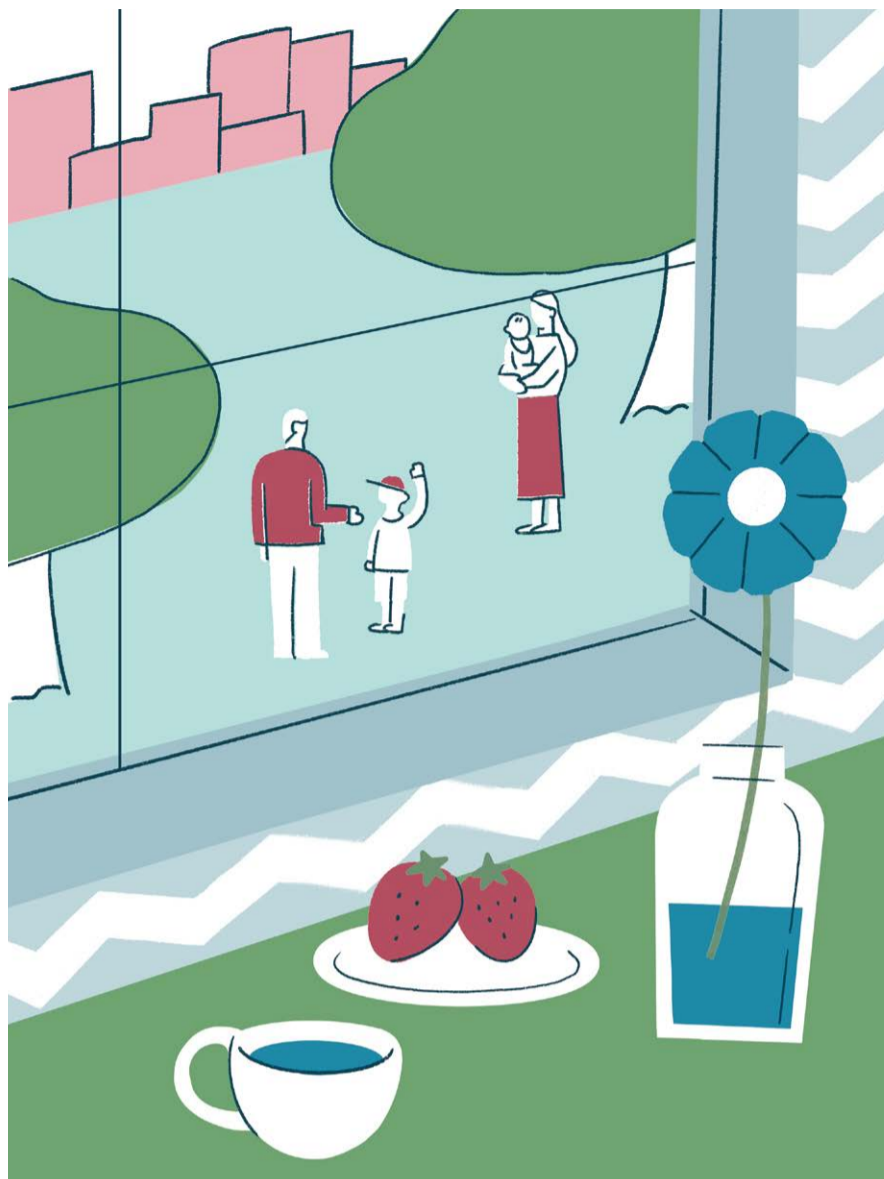


東ZINE



COVER



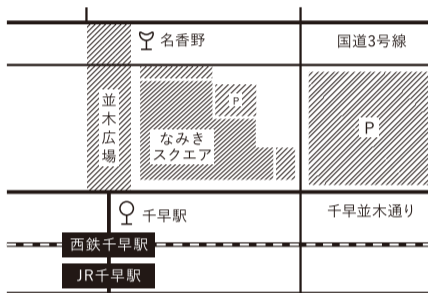
なみきスクエアの柱には、香椎宮の綾杉をモチーフにした「綾杉柄」がデザインされている。

なみきスクエア

なみきスクエアクラブの活動拠点、なみきスクエアは、東市民センター、千早音楽・演劇練習場、東図書館、証明サービスコーナーなどの機能を持つ複合施設です。

ACCESS

〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号
JR鹿兒島本線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分
西鉄貝塚線「千早駅」下車 西口より徒歩約1分



東ZINE vol.3 2022年3月25日発行 発行:なみきスクエアCLUB TEL 092-542-0224 HP <https://www.namiki-sq.jp>

千早校区

千早にできる新しい交流の場

フラッと行くと気軽に誰かと話せて、くつろげる。
そんな場所は私たちが日常を送る中でもとても大切です。

今回は千早校区に今春オープンする新しい交流の場「ちはや公園」について
ガーデンズ千早を運営する高橋株式会社の上野さんと松本さんにお話をお聞きしました。

聞き手:古閑慶治



住民がつくりあげていく公園
千早地域は比較的新しい町で、昔から住んでいる方から新しく引っ越してきた方まで様々な方がお住まいです。そういった町だからこそ新しいコミュニティや多様な活動を作っていける可能性が豊富にあると考えています。
そこで、地域の方々が自ら作り上げていく公園ができれば良いなと思えました。

つながっていく地域とちはや公園
(上の地図)これは、ちはや公園に設置する予定の地図なのですが、東エリアの様々な公園や施設が載っています。
ちはや公園では周辺の公園や施設などの様々な場所とつながっていくことを考えています。例えば、最近導入した

この公園の特徴の一つとして公園長という役割があるのですが、隣にいる松本さんが公園長を務めます。公園長は積極的に地域とこの場所をつなぎながらより良い未来の千早を住民の方々が作っていくようにサポートしていきます。
私(松本さん)も一年ほど前から千早に住んでいるのですが、まだ地域について知らないことが多いです。まずは積極的に地域の方々と交流させていただくなかで、千早のことをより知って、千早の良さを表現できる場所を作りたいです。

みなさんと一緒に協力しながら様々な体験や活動を作り上げていき、そこでの体験が思い出になり、そしていつかその体験を思い出せる。そんな場所にしていきたいです。
公園長がいる公園



建設途中のちはや公園



ガーデンズ千早を運営する高橋株式会社の上野さん(上)と松本さん(下)。松本さんはオープン予定の「ちはや公園」の公園長を務める。

新しくできる多様な交流の場「ちはや公園」がどんな場所になるかとても楽しみになってきました。公園は4月28日にオープンしますので一度立ち寄り考えてみてはいかがでしょうか。

経済的な循環も生まれていくことを目指しています。こういった活動を行いながら、ちはや公園を通して千早の楽しい未来が想像できるようにしていきたいと嬉しです。

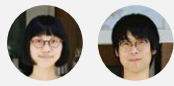


なぜ「公園」をつくるのか?
私たちは今まで約50年間、この千早地域と時代に寄り添いながらゴルフやアイスクリーム、ボーリング場などの様々なレジャーとスポーツを通じた憩いの場をつくってきました。これまでも振り返りながら、これからの50年で何ができるかを考えていました。
そこで、地域の方々が気軽に集まれて新たなコミュニティができる、そんなフラットときても楽しめる場所が千早にあると良いなと思い、そんな場所としての公園を目指しました。
ちはや公園は「この町が楽しくなる良くなる」をメインコンセプトにしており、新たな交流の場となることを期待しています。

新しい交流の場所としての公園
千早のスポーツガーデンといえば一度は来たことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。周辺の住民の方々からは「初めてのデートの場所だった」なんて話をお聞きすることもあり、思い出の場所でもあるようです。そんな場所に新しく「暮らしたのしむ、まちのオープンリビング」と題して、「ちはや公園」がオープンします。

Charitati(レンタルサイクルサービス)を使って自転車でマップに載っている場所を周って、頭の中だけではなくて実際に町を見てみる。
そこで思いついたアイデアや意見を共有したり試してみたりできる場としても、ちはや公園がある。そういう町と人をつないでいく一つのハブ(拠点)になればいいなと思っています。
そして、ここで生まれた収益の一部を地域に還元していく予定です。
例えば新しくできたコミュニティの活動を支援したり、地域の公園の遊具が新しくなったりなど、そういった経済的な循環も生まれていくことを目指しています。こういった活動を行いながら、ちはや公園を通して千早の楽しい未来が想像できるようにしていきたいと嬉しです。

海辺の町にある、築100年の元時計店を改装した喫茶店/書店。自家焙煎コーヒー豆を丁寧にハンドドリップした一杯と「ずっと大切にしたい一冊」をテーマにセレクトした本がお楽しみいただけます。



本とコーヒーをつれて
「春と花」

花は本当に良いものだとお伝えしようと思う。
これを読んだ後には、花屋へ行き花を買うことを心からお勧めしたい。
花は咲いて枯れるから良い。いつも違うから良い。
光に向かってるから良い。
知らないことを教えてくれるから良い。
他を落としたりせず正直だから良い。
水切りが楽しい。自由に飾っていいから良い。
共に生きてくれるから良い。
このように夢中にさせてくれるから良い。
花が好きな自分自身を好きになれそうだから良い。



スーパーの帰りに、花屋のコーナーを覗くのが好きです。
気に入った花を一本ずつ、数種類選んで、
宮崎宮の蚤の市などで目的なく集めていた古い薬瓶や
フラスコに挿して飾っています。

花が一輪あるだけで、部屋の空気が変わるから不思議です。
日々の変化にも心を奪われます。根や新しい葉が生えてきたり、
生花のような色を保ったまま枯れたり。
『ドライフラワー図鑑』は、枯れる前と後の美しさを楽しめる一冊です。
新しい季節、どんな花と出会えるでしょうか。

ナツメ書店



Sleep Coffee and Roaster

かこを調べて、みらいを推理
みらい探偵団



千早のまちを子どもたちが描いた灯が照らす。

子どもたちが身近な地域の過去を調べて、これからの世界のすがたを推理する「みらい探偵団」。今回は千早地域を捜査しました。ガーデنز千早の方々にお話をお聞きしながら新しくできる公園について取材したり、昔の写真を見たりして町の未

来を想像しました。調査のあとは、「千早の町で光のパレード」と題して光の絵の具で航空写真などにペイントし、町に光を灯していきまいた。いつか本当にできることを期待しながら、おもいおもいの町の未来を想像します。



蛍光灯で光る絵の具を航空写真の上に重ねていく



みらい探偵団の活動
なみきスクエアを拠点に活動する「遊びと学びのコミュニティスクール」。年間を通して様々な体験や活動に取り組みんでいます。この記事は、スクールに参加している子どもたちが取材・執筆しています。

なみきスクエアCLUB

なみきスクエアCLUBは、自分の好きなことや得意なことをかけ合わせながら、みんなのアイデアを形にしていく創造的な活動です。
「アートイベント」「遊びと学び」「はじめての○○」「ひろばづくり」の4つのテーマで活動しています。

あかちゃんとママのためのほっとタイム

ママカフェ

なみきスクエアでは、乳幼児親子でゆっくりできる「ママカフェ」を開催しています。夏は冷たく冬は温かい飲み物を楽しみながら、情報交換や育児の話をしながら楽しいひとときをお過ごしください。会場では、授乳スペースも設けています。お気軽にお立ち寄りください。

information

【日程】5/11、6/8、7/13、8/10、9/3、9/11、10/30、11/9、12/14、1/11、2/11、3/8
【時間】13:00~15:00 (9/3、9/11、10/30は、10:00~12:00)
【参加費】無料
【対象】乳幼児親子 【定員】8組の親子
【お問合せ】TEL: 092-542-0224



楽しく学びながら、たくさんの成長を

遊びと学びの
コミュニティスクール

「遊びと学びのコミュニティスクール」では、子どもたちが様々なクリエイターと一緒にワークショップや、地域の歴史や物語を人の記憶を通して学びながら、未来をみんなで考える「みらい探偵団」の活動を行います。そして、その中で得られた学びや経験を活かして一つの舞台公演を作り上げていきます。本スクールではより多様な学びを目指し、子どもの主体性や協同性、コミュニケーション力を育みます。

information

【お問合せ】TEL: 092-542-0224 Mail: info@kodomo-abc.org



東区で食べる

東区で食べる苺

料理研究家の宮村ゆかりさんが苺と柑橘のチェーのレシピと東区の苺のこぼれ話をご紹介します。

料理家

宮村ゆかりさん



千早を拠点にスパイス料理やローフードの料理教室「ミヤムの恋するcooking」を主宰。栄養士として栄養指導、レシピ開発、ケータリングなど料理家として活動中。なみきスクエアの子育て支援事業「パパスクールの講師をするなど料理を通して幅広く活躍している。

Recipe Vol.3 苺と柑橘のチェー

ベトナムの代表的なローカスイーツ「チェー」には練乳をたっぷりかけて食べます。
練乳との相性が高い苺を使ってチェーを仕上げました。
クラッシュ氷を入れて冷やしながらいただきます。



- 材料/2人分
- 苺…10粒ほど(食べやすくカット)
 - 好みの柑橘…1個(皮を剥き果肉を取り出す)
 - 練乳…大さじ2
 - きび砂糖…好みで
 - クラッシュ氷…適量

作り方
グラスにカットした苺、食べやすく切った柑橘、練乳、好みできび砂糖を少し、クラッシュ氷を入れて完成。

東区の代表的なドライブやサイクリングコースという志賀島をイメージされる方も多いと思う。国宝の金印が発掘された場所としても有名だ。ただ、志賀島はそれだけではない。実はフルーツの島!特に苺といえば志賀島なのである!60年以上前には多くの苺農家さんがおり、少しずつ減ってきてはいるが、今でも17軒の苺農家さんがおられる。海に囲まれた志賀島は、海への光の反射で日光も多く当たる。また、潮風や福岡市内よりも平均して2~3度高く温暖な点もフルーツ栽培に適した土地らしい。苺以外に、柑橘、枇杷、李などの栽培も盛んで、どれも温暖な気候を好む。今回お話いただいた、志賀島の苺農家「宮本宗吉農園」の佐古仁さんは、その育て方でエコ認定を取得されている。6年前よりお義父様から完全に引き継いで苺農家をスタートしたが、化学農薬や化学肥料の使用量を減らしても美味しい苺ができることを実感し、美味しい苺作りを試行錯誤する中で、福岡県エコ農産物認証(*)を受けられた。もちろん志賀島の土も美味しい苺の栽培に欠かせないそうだ。「でも、どこも同じ

土ではないので一軒一軒育て方に工夫がされており、農家の数だけ苺の味がある。自分のところの苺が一番美味しい!と志賀島の農家さんは皆思いながら苺を育てていて『美味しい苺のための切磋琢磨』を皆で意識していると思います。」と佐古さんがおっしゃっていたのが印象的だった。以前は大勢のリヤカー部隊のおばちゃん達が香椎方面に自慢の苺を売りに行っていたそうである。採れたての苺をいただいたが、驚くほど甘く、濃い苺の香りだった。あー、美味しいなあという思いと、農家さんの数だけある志賀島の苺の味をいろいろと試してみたいという思いが同時にでてきた。こんなに美味しい苺が育つ志賀島。ドライブだけでなく、苺目当てに行ってみるのはいかがだろうか。

*福岡県エコ農産物認証…化学合成農薬の散布回数と化学肥料の使用量を、ともに県基準の半分以下で生産する栽培計画を認証する制度。

